
ホーチミン旅行透析のご案内



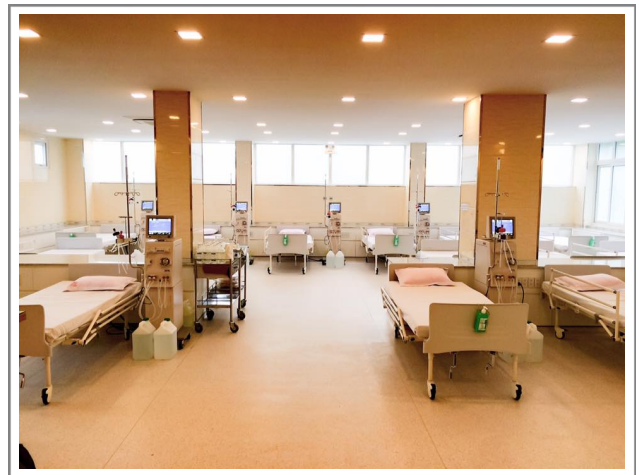
医療法人 田中泌尿器科医院

はじめに

医療法人 田中泌尿器科医院は、人工透析の専門クリニックとして1985年に開院し、現在は奈良県と大阪府に4施設ございます。

2006年からNPO法人 いつでもどこでも血液浄化インターナショナル(UBPI)の活動に参加を始め、主に東南アジアでの「発展途上国における血液浄化療法の適正な普及」を図って参りました。

2016年8月には、UBPIの活動の一環としてベトナムでの透析療法の質の向上を目的として、ホーチミンにある病院が日本式透析施設を開設するための技術協力を行っております。また、透析に関する知識の向上のためにホーチミン透析医学会(HSDT)を立ち上げ、ベトナム全土の透析に従事する医療スタッフへの教育を行っております。



ベトナムの現状

ベトナムでは透析施設が約300施設、透析用監視装置(※1)が約4700台稼働しています。その多くはメンテナンスが行き届いておらず、高濃度のエンドトキシン(※2)が検出される汚染された透析液が使用されています。くわえて、エンドトキシンを除去するフィルターもあまり普及していません。また、ダイアライザー(※3)は約6～10回再利用され、院内感染が多発しています。

ベトナム国内で流通しているダイアライザーの種類が限られているため、個々の患者様に合わせた透析をすることは出来ません。また、医薬品に関しても流通している種類が少ない上に、品質の悪いものも多く、日本と同様の治療が出来ないのが現状です。

※1 透析用監視装置

体内の余分な水分や老廃物を除去するために透析液をコントロールし、透析治療を安全に行うために「患者さまの状態」をモニタリングする装置です。(株式会社ニプロ ホームページより)

※2 エンドトキシン

内毒素（ないどくそ）とは、グラム陰性菌の細胞壁の成分であり積極的には分泌されない毒素を指す。英語名をそのまま用い、エンドトキシン (endotoxin) と呼ぶ。内毒素の主な生物学的作用は、致死性ショック、発熱、補体の活性化、白血球の活性化、接着分子発現や血管内皮細胞の障害、汎発性血管内凝固（DIC）、抗体産生促進、食菌の促進などである。(ウィキペディアより)

※3 ダイアライザー

ダイアライザー（英語: Dialyzer）は半透膜などからなる透析装置（医療機器）である。主には、血液透析（人工腎臓）で用いる装置（血液透析器：hemodialyzer）のことを指す。(ウィキペディアより)

Nguyen Tri Phuong Hospital

(ニュエン・チー・フン病院、NTP病院)

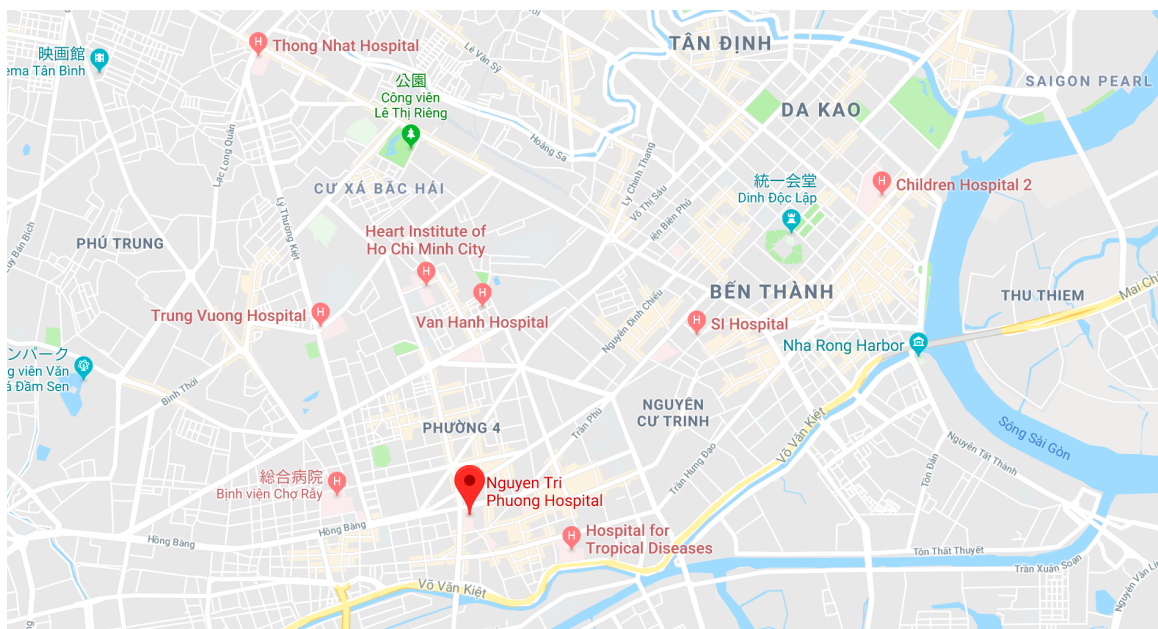
1903年に、無料の医療機関として設立されました。1919年に、Quang Dong病院という名称で大規模に建設され、ベトナム戦争後の南北ベトナム再統一まで民間病院のモデルとして運営されました。1978年、公式に国営病院となり、後にNguyen Tri Phuong Hospitalと改称されました。

2016年8月に、NPO法人 いつでもどこでも血液浄化インターナショナル(UBPI)と、医療法人 田中泌尿器科医院(TUC Japan)、TUC Vietnam の技術協力の元に日本式透析施設が開設されました。治療に使用される透析液は、日本透析医学会の水質基準を満たしており、TUC Vietnamによる定期点検及び保守が行われています。また、ベトナム初のダイアライザー単回使用(再利用しない)が行われています。

【透析用監視装置】

Surdial 55 Plus (ニプロ社製) 10台

・熱水消毒 ・薬液消毒 ・精密限外ろ過フィルター(エンドトキシン用フィルター)



所在地：468 Nguyen Trai, Phung 8, Quan 5, Ho Chi Minh, Vietnam

連絡先：+84 28 3923 4349

NTP病院での透析について

NTP病院では、一般的な透析療法については日本と同様に受けることが可能です。

しかしながら、ベトナム国内に流通している医療材料及び医薬品は日本と異なり、全く同じ治療は困難なのが現状です。また、ベトナム国内の緊急医療体制が万全ではございませんので、突発的な体調の変化や重篤な合併症がある場合は主治医と相談して頂いた上で旅程を決めて頂くことをお勧めします。

【透析液】

日本製ではございませんが、全く問題はございません。

水質も日本透析医学会の水質基準を満たしております。

【ダイアライザー】

ニプロ社製の海外仕様を使用しますが、日本の物と全く同じではありません。

透析効率に差はございますが、特に大差はございませんのでご安心下さい。

日本で普段使われているダイアライザーの使用をご希望の場合は、通院中の透析施設に自費購入が可能かどうかをお問い合わせ下さい。

【増血剤(ESA)】

流通はしておりますが、品質が日本と同じかどうか不明(中国製が多い)です。

旅行期間に応じて、日本国内で長時間作用型ESAを投与しておくことをお勧めします。

長時間作用型ESA

- ・ダルベポエチン(ネスプ) ← 1週間以内の旅行の場合
- ・エポエチンベータペゴル(ミルセラ) ← 2週間以内の旅行の場合
- ・3週間以上の旅行の場合は、ご相談ください。

【その他内服薬】

ベトナム国内に流通している医薬品の種類が非常に少ないので、日本国内の透析施設で長期処方して頂く必要がございます。

NTP病院で透析を受けるまでの流れ

1 患者様から通院中の施設 [施設A] に連絡

通院中の透析施設に訪越の希望をお伝えください。

2 旅程の決定

目的地と旅行期間を決めて下さい。

3 [施設A] から [TUC Japan] に連絡

通院中の透析施設から、田中泌尿器科医院にご連絡ください。

【連絡先】 医療法人 田中泌尿器科医院 生駒診療所

☎0743-75-2861

4 [TUC Japan] から [施設A] に必要書類を送信

海外医療機関向けの紹介状兼透析サマリーの書式をメールで
[施設A]に送信させていただきます。

5 [施設A] から [TUC Japan] に必要書類を送信

記入済みの必要書類を田中泌尿器科医院にご提出下さい。

6 [TUC Japan] から [TUC Vietnam] に連絡

患者様の旅程と必要書類をベトナムに送り、予約を確定します。

7 [TUC Japan] から [施設A] に連絡

確定した予約情報を田中泌尿器科医院から[施設A]に連絡させて頂きます。患者様には[施設A]から連絡して頂きます。

必要書類送信時に、記入例も添付致しますのでご参照下さい。

Tanaka Urology Clinic Dialysis Center

ベトナム旅行(ホーチミン)のお役立ち情報

ベトナム最大の都市ホーチミンは、文化や経済でも国の中心で、いつでも活気づいています。かつてはサイゴン市として知られていたこの街には、フランス植民地時代のおしゃれな建築物が残されています。



【時差】

日本との時差は-2時間。ベトナムの方が遅れています。

【ビザ】

15日以内であれば不要です。トランジットを含め、一度出国すると30日以内はビザが必要になりますので、他国(カンボジア等)と合わせて旅行する際はご注意ください。また、パスポートの残存有効期間は日本出国時6ヶ月以上必要です。

【気温と服装】

年間を通して最高気温が30℃以上あります。必ず夏服をご用意下さい。

【通貨】

ベトナムドン(VND)

アメリカドルや日本円は、そのまま使うことは出来ません。必ず換金して下さい。クレジットカードはご利用頂けますが、個人商店でのご利用はお勧めできません。

【交通】

旅行者の移動手段は、主にタクシーです。料金も安いのでとても便利です。

旅行者を狙った”ぼったくりタクシー”も多いので気をつけて下さい。

最大手の「VINASUN」タクシーのご利用が最も安全です。

医療法人 田中泌尿器科医院

〒630-0244

奈良県生駒市東松ヶ丘15-30

TEL : 0743-75-2861 FAX : 0743-75-5114

